



2021年2月16日

日本鉄道労働組合連合会

交運労協「KeyWorkers」動画・サイト記者発表会

人々の暮らしと移動を支える仲間とともに前へ!



△「KeyWorkers」特設サイトより

2月15日、全日本交通運輸産業労働組合協議会（交運労協）は、コロナ禍で疲弊する交通運輸・観光産業の現状と現場における安全・安心の取り組みを広く社会に発信することを目的としたドキュメンタリー・ショートムービー「KeyWorkers」の配信及び、サイトの立ち上げについて記者発表会を開催し、YouTube ライブ配信も行った。

冒頭、挨拶に立った交運労協住野敏彦議長は、「コロナ禍においても、交通運輸産業に集う60万人の仲間は、懸命に感染対策に挑み、希望を持って日々の安全・安定・安心輸送を確保している。この発表会を通じて現場の実態をキャッチし、様々な角度から公共交通の安心利用について議論を巻き起こしてもらいたい」と訴えた。

続いて、交運労協慶島讓治事務局次長（JR連合特別執行委員）は、コロナ禍の負の影響が特定の産業・業種に集中している実態を説明するとともに、交通運輸・観光産業の事業者・労働組合が日々取り組んでいる感染対策等を紹介した。その上で、「KeyWorkers」

という言葉に込めた想いを「我々は社会の『鍵』となる『大事な働き手』なのだ」と強調した。

記者からの質疑では、厳しい環境下での2021春季生活闘争への意気込みを問われたJR連合荻山会長は「人材確保のためには近視眼的にならないことが重要。賃金だけでなく働き方も含め幅広い議論を各単組で展開していく」と語った。



△「KeyWorkers」の
動画視聴はこちら



△「KeyWorkers」の
サイトはこちら



△動画・サイトに登場するJR
四国労組フルソノ組合員